

－ 裏磐梯湖沼群ができた理由 －

明治21年に山の噴火で大きな湖から小さな湖まで約300もの湖や沼ができました。

もともとこの山では周りに河川が集まる場所で、噴火の際に生じた岩なだれで水が塞き止められて磐梯山沼群が出来たそうです。

私はその噴火の際に生じた岩なだれのおかげで磐梯山でしか見られない美しい色の五色沼ができたのだと思うと、こんな偶然で自然がこんなにも美しくなるのだと私は素晴らしく感じました。

ガイドさんがこの沼はどうして色が付いているのか説明をして頂いた時に、磐梯山の噴火の際に生じた岩なだれの岩に山の鉱物が含まれていてその鉱物が水を含んで水の色が変化したと言われているそうです。



－ 磐梯山の有名な沼や湖 －

水の色が変化した湖や沼の中で有名なのが五色沼です。他にも有名なのは桧原湖というところで、噴火した際にできた湖や湖の中で一番大きな湖とされています。その湖は最初の頃は水たまりのようなものがいくつかあり、徐々に雨などで水が増えていったそうです。

他にも裏磐梯には変わった湖で、小野川湖と言う場所があります。その湖は水位が下がると湖に沈んでいた墓石が姿を現すそうです。秋元湖も岩なだれで沈んでしまった村があります。

－ 磐梯山の不思議な五色沼 －

磐梯山の有名な五色沼を説明します。

まず一つ目に説明するのは、るり沼です。この沼の水面標高は815mあり一番深い場所でも9mあるそうです。面積は18,100m²もあるそうです。

沼水は、カルシウムと硫酸イオンを夫君でいて青く澄んだ沼です。この沼の底にはウカミカマゴケと言うコケが埋め尽くしています。

他にも、青く見える沼で、青沼という沼が水面標高は815mあり、一番深い所では6mあるそうです。沼の面積は5,750m²あります。沼水はるり沼と同じくカルシウムと硫

酸イオンを含んでいて沼のそこには、同じくウカミカマゴケが生えているそうです。

他にも沼の色が青いものだけではなく赤沼という沼があります。この沼は青沼とは違った色をしていますが、この沼も青沼と同じようにとても赤色が綺麗です。この沼の水面標高は790mあり一番深い所では4mです。面積は2,500m²程あるそうです。この沼は噴火口の近くにあつて沼にはマンガンなどが多量に含まれているので沼が赤くなっているそうです。

もうひとつの沼は毘沙門個と言い水面標高は780mあつて一番深い場所では13mあり面積は150,000m²あります。五色沼の中では一番大きな沼で他の沼より酸性度が低く沼の周辺にはシロカナギやヤマナラシがいます。

そして最後に、深泥沼と言って水面標高が790mあり一番深い場所では5mあり、面積は12,700m²です。この沼の西の方は青緑色に濁っていてフトヒルムシロというのが沼を青緑色にしているそうです。それに対して東の方は澄んだ色をして、ひとつの沼で水質の異なった沼だそうです。

私は、その五色沼というところに行くまではそんな沼なんて世の中にある訳がないと思っていましたが実際に五色沼を見てみたらとても驚きました。まるで絵の具のような綺麗な原色が沼の色を変えていました。



— 磐梯山の自然と植林 —

磐梯山には、五色沼だけではなくて様々な自然が溢れていて、木や植物や動物がこの磐梯山にまるで命を吹き込むかの様に数々の種類がいました。

まず、私が珍しいなと思ったのがヤマナラシという木です。この木は少しの風でも枝が動くように葉の付け根の枝が細くなっていて風で音が鳴るようになっているそうです。他にもヒトツバカエデという葉は黄色く色づき葉は丸いがカエデの仲間だといわれています。

他にも自然だけではなくてこの磐梯山の植林をした遠藤現夢さんのお墓があります。現夢さんは噴火で荒廃した磐梯山に緑化を成功させた人として磐梯山にお墓を作ったそうです。磐梯山の緑化は現夢さんだけがしていたわけではなくて、何人もの人が挑戦していたそうですが全財産を使い果たして失敗に終わる人が多かったそうです。今は、遠藤現夢

さんは、青沼の北西にある大きな岩を墓石として今ではそこに眠っているそうです。

－ 磐梯に住む様々な鳥たち －

皆さん私達の身近にいるカラスは一種類だと思いませんか、しかしカラスにも種類があり2種類あります。私達の身近にいるカラスも場所が変わると種類が変わり、ハシブトガラスとハシボソガラスの2種類がいます。鳴き方も住む場所も違って同じカラスでも全く違います。ハシボソガラスの鳴き方は「カーカー」と鳴きますが、ハシブトガラスは「ガーガー」と鳴きます。ハシボソガラスが住む場所は自然がたくさんある田舎などにいるそうです。くちばしは細長い削りとなっています。そしてハシブトガラスは住む場所は都会など人がたくさん住む場所に住み、くちばしは太いそうです。

他にも鳥ではハクセキレイという鳥がいて河流や町などの水の近くで住んでいます。同じセキレイの鳥でセグロセキレイは上流に住みます。同じ鳥の種類でも全く違う暮らしをしている鳥も多いそうです。

2日目ではバードウォッチングはこのようなことを教えてもらいました。残念ながらこの日は鳥が少なくあまり見るできませんでした。他に磐梯山の自然と触れ合うことができました。磐梯山へ行って損は無いです。

